

「核兵器禁止条約の批准を求める意見書の提出」
を求める陳情書



「核兵器禁止条約の批准を求める意見書の提出」を求める陳情書

【陳情趣旨】

2026年8月6日、同年8月8日に行われた平和記念式典において高市早苗首相が挨拶を行いました。その中で首相は「非核三原則を堅持しており」と現状説明にとどめ、将来にわたって維持する意思を用いませんでした。

世界では批准国が次々と生まれ、2026年7月7日現在、95カ国が署名・批准・参加しています(日本原水協ホームページより参照)。

2026年7月2日現在、756の自治体が核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書決議が採択されています。しかし茨城県では採択は9自治体にとどまり、ひたちなか市は採択されておられません(日本原水協ホームページより参照)。

ひたちなか市議会では平成8年4月1日に「核兵器廃絶平和都市宣言」を採択しています。

現在の世界情勢はかつてないほど緊迫しています。こうしたことからひたちなか市議会として、日本政府に対し核兵器のない平和な世界の実現に向けて、核兵器禁止条約への参加・批准を求める意見書の提出をしていただきたく陳情いたします。

上記のとおり陳情書を提出します。

2026年 8 月 14日

陳情者 住所:

氏名:

ひたちなか市議会議長

薄井 宏安 様